

私法判例 リマークス

法律時報
別冊

no. 47

2013
〔下〕
平成24年度
判例評論

椿 寿夫
奥田昌道
徳田和幸
櫻田嘉章
森本 滋
編

民法

後藤元伸
佐久間 毅
藤田寿夫
滝澤孝臣
宮川不可止
長谷川貞之
長坂 純
田高寛貴
中舎寛樹
近江幸治
池田真朗
武川幸嗣
伊藤 浩
淡路剛久
二宮周平
若林昌子
犬伏由子
床谷文雄

商事法

石田真得
小林 量
片木晴彦
徳本 穰
河村尚志
土岐孝宏
小林俊明

民事手続法

福本知行
名津井吉裕
町村泰貴
酒井博行
安西明子
加波真一
西川佳代
栗田 隆

国際私法

中野俊一郎
中西 康
渡辺惺之

【民法】

〔総則〕

- ① 権利能力のない社団と一般法人法二七八条（代表訴訟規定）の類推適用……………後藤元伸 6
 （東京地判平二四・六・八）

- ② 美術品売買における目的物の真贋と錯誤……………佐久間毅 10
 （東京地判平二四・七・二六）

- 〔債権〕
 ③ 携帯通信料が予想外の高額となったことの警告義務違反による損害賠償責任……………藤田寿夫 14
 （京都地判平二四・一・二二）

- ④ 銀行の業務全般をつかさどる経営システムの開発契約につきベンダの「プロジェクト・マネージメント義務」違反を理由とするユーザの契約解除が認められた事例……………滝澤孝臣 18
 （東京地判平二四・三・二九）

- ⑤ 銀行による取引先預金口座の凍結と債務不履行ないし不法行為責任の有無……………宮川不可止 22
 （甲府地判平二四・一・一八）

- ⑥ マスター・フランチャイザーによるフランチャイズ契約の更新拒絶とサブ・フランチャイザーに対する損害賠償責任……………長谷川貞之 26
 （東京地判平二四・一・三〇）

- ⑦ 有料道路での土砂崩れによる自動車事故と道路管理会社の損害賠償責任……………長坂 純 30
 （福岡地小倉支判平二四・六・二六）

- ⑧ 人身傷害補償条項に基づいて保険金を支払った保険会社にによる損害賠償請求権の代位取得の範囲……………田高寛貴 34

〔第三小判平二四・五・二九〕

- ⑨ 一 物的担保の価値を誤信して締結した保証契約と錯誤
 二 主債務の債権譲渡を異議なく承諾した場合と保証契約の錯誤無効の主張……………中舎寛樹 38
 （東京高判平二四・五・二四）

- ⑩ 譲渡債権の債務者が譲渡通知を受ける前に譲渡人に対し、当該債権を原因とする約束手形を振り出し、通知後に裏書譲渡を受けた手形所持人に手形金を支払ったことによる原因債権の消滅を債権譲受人に対抗することの可否……………近江幸治 42
 （東京高判平二四・八・八）

- ⑪ 貸金業者Yの完全子会社Aが、顧客Xとの継続的消費貸借取引上の債権をYに譲渡した場合に、AのXに対する過払金返還債務のYへの承継が否定された事例……………池田真朗 46
 （最一小判平二四・六・二九）

- ⑫ 子供によるマンション内の生活騒音の差止請求の許否および損害の範囲……………武川幸嗣 50
 （東京地判平二四・三・一五）

- ⑬ 中皮腫の発症死亡と運送会社・運送委託会社の責任……………伊藤 浩 54
 （大阪高判平二四・五・二九）

- ⑭ 不法投棄されたヒ素化合物による地下水汚染から生じた健康被害及び農業被害と国、県の責任……………淡路剛久 58
 （公害等調整委員会裁定平二四・五・一一）

〔親族・相続〕

- ⑮ 内縁解消後、財産分与の審判手続中に分与義務者が死……………

亡した場合と分与義務の相続性(積極)……………二宮周平 62
(大阪高決平二三・一一・一五)

⑩—共同親権者間の子の引渡し保全処分執行不能後の本案
監護者指定と子の引渡し……………若林昌子 66
(東京高決平二四・六・六)

⑪—子との面会交流を許さなければならぬことを命じた
決定に基づく間接強制の申立てが認容された事例
……………犬伏由子 70

【商事法】

〔商事法一般〕

①—臨時報告書等の虚偽記載等と取締役・監査役の責任……………石田眞得 78
(東京地判平二四・六・二二)

〔会社法〕

②—退任時に、内規に従った退職慰労金を支払う旨の説明
をした過半数株式を有する代表取締役等の退任取締役
に対する不法行為責任が認められた事例……………小林 量 82
(佐賀地判平二三・一一・〇)

③—小会社の監査役の第三者に対する責任が認められた事
例……………片木晴彦 86
(名古屋高判平二三・八・二五)

④—非上場会社における自己株式の処分価額と新株発行価
額と取締役の責任……………徳本 穰 90

【民事手続法】

①—交通事故の被害者の加害者に対する損害賠償請求訴訟
において保険会社とした独立当事者参加が認められた
事例……………福本知行 106
(岐阜地判平二四・一・一七)

(東京高決平二四・一・二二)

⑬—被相続人が一度も婚姻したことがない状態で出生した
嫡出でない子につき、後に出生した嫡出子との関係
で、民法九〇〇条四号ただし書を準用する二〇四四条
を適用することと憲法一四条一項違反の成否(積極)
……………床谷文雄 74
(名古屋高判平二三・一二・二二)

(東京地判平二四・三・一五)

⑤—二段階買取型の株式交換における反対株主の株式買取
価格の算定例——三洋電機株式買取価格決定申立事件
……………河村尚志 94
(大阪地判平二四・四・二七)

〔保険法〕

⑥—個人財産総合保険契約の個人賠償責任総合補償特約
款上の地震免責条項の解釈……………土岐孝宏 98
(東京高判平二四・三・一九)

⑦—自動車保険契約の無保険車傷害条項により支払われる
べき保険金額の算定方法等……………小林俊明 102
(最一小判平二四・四・二七)

②—将来給付の訴えの請求適格(消極)……………名津井吉裕 110
(最一小判平二四・二・二二)

③—裁判所に調査嘱託の職権発動を求めた当事者が、
嘱託先に対して回答義務存在の中間確認の訴えを提

【国際私法】

起したところ、却下された事例

② 調査囑託の囑託先が回答を拒絶したことについて、調査囑託の職権発動を求めた当事者に対する不法行為責任成立の余地を認めつつ、当該事案での不法行為責任成立を否定した事例

町村泰貴 114

(東京高判平二四・一〇・二四)

③ 第一審判決の仮執行宣言に基づく強制執行によって建物が明け渡されている場合における当該建物の明渡しと併合されている他の請求の当否等についての控訴審の判断

酒井博行 118

(最一小判平二四・四・六)

④ 将来の介護費用の損害賠償について、定期金賠償方式が相当であるとした第一審判決が、控訴審裁判所において一時金賠償方式が相当であるとして変更された事例

安西明子 122

(福岡高判平二三・一二・二二)

① 日本の政府開発援助(ODA)によるダム建設で移住を強いられたと主張する外国人及び外国環境保護団体からの損害賠償請求等——コトパンジャン・ダム第一審判決

中野俊一郎 138

(東京地判平二二・九・一〇)

② 主権免除による訴え却下判決確定後の判例変更を受けて提起された後訴の適法性

中西 康 142

(東京地判平二三・一〇・二八)

③ 日本会社のパミューダ会社に対する報酬金請求の訴えについて、黙示の履行地合意による義務履行地管轄を認めながら、我が国の国際裁判管轄を否定すべき特段の事情があるとして管轄を否定した事例

渡辺惺之 146

⑤ 会社組織に関する訴えに係る請求を認容する判決が許害判決であるとして、その効力の及ぶ第三者が、民事訴訟法三三八条一項三号の代理権欠缺の場合に準じて再審請求をすることの適否

加波眞一 126

(東京高決平二四・八・二三)

⑦ 民法二五八条二項所定の競売を命ずる判決に基づく不動産競売と民事執行法五九条及び六三条準用の有無

西川佳代 130

(最一小決平二四・二・七)

⑧ 1 無委託保証人が主債務者の破産手続開始後に弁済したことによる求償権の原因は保証契約にあるから破産債権にあたる

2 同求償権を自動債権とする相殺は破産法七二条一項一号の類推適用により制限される

栗田 隆 134

(最一小判平二四・五・二八)

(東京地判平二三・九・七)

私法判例リマックス47 (2013 (下)) 裁判所別・年月日順索引 152

文献略語表
判例の符号
154 153

デザイン/海保 透